

# 借金をしながら、貯金を下ろしながらの予算は将来の羽村をつくる子どもたちの負担が増える事になります 莫大な税金が使われる区画整理は一時中止を！

「この区画整理に協力しない」旨の署名人数が過去最高の366名に！  
区画整理事業は相手がいる事業で、その相手の土地を無償で提供させ、出せない人には清算金（お金）を出してもらおう事業です。ですから地権者との合意が大前提です。そのためこの事業が市から地権者に示されるとすぐに反対運動が始まりました。地権者の多くが「自分の知らないところで決めたのは許せない」と怒りの声を上げました。市はそれの動きに対して「理解を得られるよう努力する」という答弁を繰り返してきました。しかし、市が理解を求めようとして説明会等をすればするほど反対の地権者は増え続け「協力しない」旨の署名は366名にもなり、羽村市と東京都へ提出したと聞いています。（区画整理地域に住んでいない地権者も含めると約1100名の地権者）この数字をみるとこの事業が計画どおりに進むということはありません

借金は増え続け、貯金は減り続け

22年度予算の内訳	
借金	2億5,700万円
西口整備基金取り崩し	1億5,000万円
国からの交付金	2,500万円
国庫補助金	4,100万円
東京都補助	500万円
市の財源約	1億6,000万円
合計	約6億3千800万円
金額は切り捨ててありますので約になっています	

左記の表にある市の財源約1億6千万円は、人件費8千万円と借金の返済6千200万円で使い果たし、土地の取得、新都市建設公社への委託金、事務所の維持管理費に要する経費、区画整理事業の事務に関する経費、等の必要経費はほとんど、借金と貯金を下ろして、また、国と都のわずかな補助金で賄う事になります。

借金残高は？	
平成20年度末で	12億2700万円
平成22年度末で	19億4300万円

## 市民の暮らしの感覚に合った柔軟な対応を

区画整理については、一部の議員の中には「長期総合計画にあるから」「今までやってきたことだから」という理由で区画整理賛成と言います。しかし、今市民生活は「暮らしにくい」「将来不安」が渦巻いています。いまこそ市民の感覚に合った税金の使い方が求められています。

# レクリエーション広場が 利用しやすいよう改善されました

・トイレが「簡易水洗トイレ」になりました

いままでのトイレは汚物が水で流れずに直接見えることや、夏には悪臭がひどいため「とても使用できない」との声が寄せられていました。日本共産党は市へ改善を求めていました。

市は、今年度やっと「簡易水洗」に変えました。ちなみにリース料金は年間10万5千円でいままでと同じ金額でした。



外見は今までと同じですが清潔なトイレになりました。写真上

保育士さんの声 本当に良かったです。これで子どもたちもトイレに行くのを嫌がらないと思います。いままでよりもっと広場に連れて行けます。

・広場に降りる階段に手すりが設置されました



広場に降りるために利用されている階段に国の負担で手すりが設置されました。国の関係機関に清流町の住民・共産党の後援会・市の関係者がそれぞれの立場で要望していました。

市民の声 私は国に要請に行きました。早選手すりが設置され近所の人から「ありがとう」と声をかけられます。市はもっと早く働きかけるべきではなかったでしょうか。